

治安基盤の充実

【担当省庁】警察庁

奈良県における取組

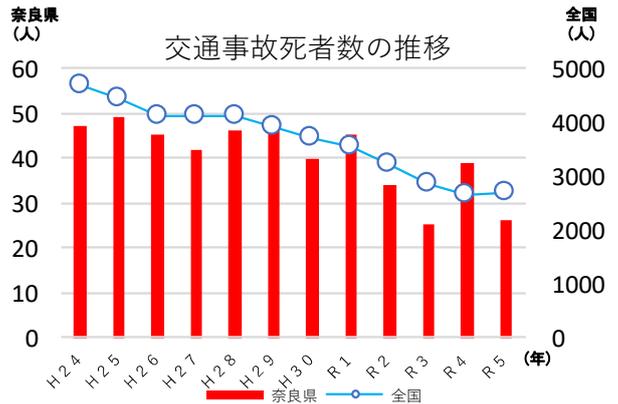
交通安全対策

奈良県における交通事故死者数は、令和5年中26人で、戦後統計が残る昭和22年以降で過去2番目に少なくなったものの、交通事故死者数全体の約7割が高齢者となっているほか、昼間から夜間に掛けて発生が集中していることから、今後さらに交通事故死者数を減少させるためには、交通事故抑止対策を充実させる必要がある。

よって、交通安全対策を遺憾なく発揮するためには、県内の信号機や横断歩道などといった交通安全施設の計画的な新設や改修等が必要不可欠である。

特に、信号機については老朽化による灯器異常や倒壊の危険性が深刻化しているほか、全国平均を下回る全体の約4割が電球式であることから、電球の生産が中止となる令和9年度を目処として計画的な更新が喫緊の課題となっている。

このため、交通事故抑止対策として、ひいては、「日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現」に向け、交通安全施設の整備を推進しているところである。



LED式信号灯器の整備状況(R5年3月末)

信号制御機更新状況(R4年度中)

	LED式信号灯器の整備状況(R5年3月末)							信号制御機更新状況(R4年度中)							
	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山	
車両用灯器総数	1,265,493	14,650	15,528	23,818	79,629	45,815	12,115	信号制御機総数	204,587	1,996	2,264	3,319	11,863	7,204	1,790
うちLED	901,308	8,761	11,277	15,763	62,818	22,973	10,469	うち更新数	8,555	73	118	79	356	409	115
割合	71.2%	59.8%	72.6%	66.2%	78.9%	50.1%	86.4%	割合	4.2%	3.7%	5.2%	2.4%	3.0%	5.7%	6.4%

国にお願いすること

交通安全対策

第11次交通安全基本計画の目標達成に向け、安全で快適な交通環境を整備するためには、交通危険箇所の改善に加え、老朽化した交通安全施設の戦略的な維持管理・更新が必要であることから、補助対象事業の拡大を要望する。

【県担当部局】警察本部